

第3回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会運営部会

日 時 令和3年6月21日（月） 午後1時30分から
 場 所 日進市役所4階 第3会議室
 出席者 小林部会長、原副部会長、井上委員、松原委員、山口委員、水野委員
 欠席者
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有 2名
 次 第 1 あいさつ
 2 議題
 目標項目及び目標値について
 3 その他

発 言 者	内 容
	1 あいさつ
事 務 局	(あいさつ)
事 務 局	(資料の確認)
事 務 局	日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会運営委員会の委員定数6名に対し、6名の出席があり、過半数に達しているので会議が成立することを報告する。会議については原則公開となる。 議長は会長が行うこととなっている。進行をお願いしたい。
部 会 長	(あいさつ) それでは、第3回日進市一般廃棄物基本計画策定委員会運営部会を開催する。本日の傍聴者は2名である。この会議は原則公開とされているので公開したいと思うが、ご意見はあるか。
	(異議なし)
部 会 長	傍聴者を入室させる。それでは、議事を進めていく。
	2 議題 目標項目及び目標値について
部 会 長	事務局より説明がある。
事 務 局	(説明)
部 会 長	粗大ごみは何系ごみに入るのか。
事 務 局	燃えるごみと粗大ごみを合わせたのが家庭系ごみとなる。目標⑤は、家庭系ごみから粗大ごみを除いたものとなる。
事 務 局	(説明)
部 会 長	ただいまの説明に対して意見、質問はあるか。
委 員	資源は最初に入っていないのか。

発 言 者	内 容
事 務 局	入っていない。
委 員	資料②で、民間の利用者が集めている資源を 1,000 トン上乘せといわれたが、この 1,000 トンとはどのように算出したのか。
事 務 局	新聞と雑誌の発行部数を調べ、平成 28 年度から令和 2 年度までの発行部数の約 2 割という数字である。資料 4 の裏面で、資源ごみ量の品目別実績がある。この中に「新聞紙・雑誌」というのがある。平成 28 年度の 3,699 トンから、令和 2 年度の 2,161 トンで、この 2 つの数値を見ると、新聞・雑誌の発行部数が 2 割減っている。単純に考えると、資源として回収された新聞・雑誌も 2 割減るということになる。2 割減るとなると、2,959 トンとなるが、実際、令和 2 年度に回収しているのは 2,161 トンである。令和 2 年度では 2,161 トンになっているので、ここは 2 割以上減っている。1,000 トンと見積もって、リサイクルに回せるのではないかとすると、リサイクル率を出すときにその辺りかと思う。
委 員	日進市の組成調査の結果のところか。組成調査の新聞・雑誌のパーセンテージができていないからということか。
事 務 局	そうではない。回収した資源である。
委 員	回収した資源が減っているから、減った分が民間分に出されているのではないかとということか。
部 会 長	日本全体の新聞・雑誌の発行部数の種類が 20%減っている。2 割減っているということは、リサイクルも 2 割減るだろうとことである。
委 員	発行されるものが減っていると、リサイクルも減るとということか。
事 務 局	そもそも 5 年間の世に出回っている本そのものが減っていなければ、単純にリサイクルされるが、出回っている本全体が減少しているため、その部分が減っている。
委 員	本全体が減っていて、売り上げが減ったらリサイクルに回るのも減るとということか。
事 務 局	その差が大体 1,000 トンとしてある。減った理由は I T 化などいろいろある。全国的に発行部数、世に出回っているものがそもそも減っている。だからリサイクルされるものも減っている。
事 務 局	リサイクル率の数字を目標に掲げているが、行政がやる以外に民間でリサイクルがされている。そうすると行政の数値に上がってこないが、市全体としてリサイクルが管理されているものはわかっている。民間の部分のリサイクルがされているということで参考値として。
委 員	日進にある民間の大きな業者があると思うが、そういったところに聞くことはできないのか。どれくらい日進の資源が増えているのか、日進に置いてある箇所どれくらい集めているということを知りたいのか。
事 務 局	一部分、情報をいただいている事業者もある。市内全部ではない。資料 4、5 の資源ごみ量の中の事業者回収は事業者が集められたものである。情報をいただいている分だけではある。25%はあくまでも参考値である。
部 会 長	資料であるが、今、説明があったところについて書いていないのでよくわからない。言葉が足りない。もう少しわかりやすく示してほしい。

発 言 者	内 容
委 員	市民の立場で、資料⑤のAの水分削減であるが、前回のアンケート結果で、水切りをしているのは半分くらいいたのではないか。
事 務 局	三角コーナーなど、水切りネットで水切りをしているという割合が 49.1%、生ごみを出す前にさらにもうひと絞りしているという割合が 27.7%であった。
委 員	少ないと思う。水切りは個人差がある。ひと絞りしただけでも水切りをしたという人もいるし、三角コーナーを使ってしずくが垂れていても、それも水切りということになると思う。水切りというものを、もう少し厳しくするような何かよい言葉があるとよい。全員が出すときに、ひと絞りといっても、私もやってみたが、コーヒーのかすはひと握りしてもまだ水分が出る。かなり絞って見たら量的には少なくなる。理想値が気になる。水切りをしっかりとかなり減る。水分が出る果物や茶殻など、そういった水分の出やすいものについて、もうひと絞りといった啓発をしてもらいたい。8.6%の削減をするとはあるが、私の周りの人たちはもうすでに絞ってやっているという人が多い。
部 会 長	数値が大きすぎるということか。
委 員	やっている人については大きすぎるのではないか。
部 会 長	水切りしている人が 27%くらいで、残りの 72%がやっていないと仮定して、やっていない人を対象にすると、8.6%、72%、5%と出したほうがよいのではという理解でよいか。確かにそう思う。
副 部 会 長	気になることがある。②の資料の1人あたりのごみのところであるが、平成 30 年からリバウンドしているように見える。なぜかと思った。1つ考えられたのが、前は令和 2 年度がなかったので、令和元年度だけで考えると、プラごみを燃えるごみに混ぜるようになった。その分が入っているかと思った。それだったら仕方がないと思うが、令和 2 年度でさらに上昇している。コロナ騒ぎでお取り寄せが多くなっているのではないか。外食数が減っているのではないか。そうなると、当然その分の食材や包装などが家に入ってくる。生活のライフスタイルの変更に伴うようなことが起こっている可能性がある。仕方がないと捉えるのか、または施策の中に、お取り寄せは極力避けましょうと入れるのか。包装材は絶対に入ってくる。リユースによって抑制するといった施策を取ってよいのかどうかも含めて考えたほうがよいと思う。実際に余分なものを買わないようにといった施策的にはない。少し考えてもよいかもしれない。梱包材が発生するような生活様式や行動は避けるということで、具体的にいうとお取り寄せは考えましょうといったことであるが、やってよいのかも含め、そのような案は 1 つあるかと思う。リバウンドしている理由があると思う。日進市民のマナーがいきなり悪くなったとは考えられないので、今いったような理由が考えられるのであれば、そこの分析をやったほうがよいと思う。組成調査をその視点でやってみるということではできないか。
事 務 局	29 年度に切り替えたときに 3 市町で頻繁に組成調査を行っている。
副 部 会 長	30 年度と元年の増加の原因としてはそういったことが挙げられるのか。
事 務 局	あとは、不燃の中に入っていた可燃が回ってきている可能性もある。調べてみる。

発 言 者	内 容
副 部 会 長	そのことはあり得る。平成 30 年度よりも令和元年度が増えている理由はそこにあるかもしれない。可能性としては考えられる。さらに令和 2 年度はまた増えている。11 グラム増えている。11 グラムは大きい。
事 務 局	コロナで宅配が多くなっている。当然その食べ物を包むプラスチックの容器が増えていると思う。
副 部 会 長	プラスチック容器でわけられればよいが、そうではなくわけられないものは自動的に可燃物に入る。そうなると当然可燃ごみは増える。あるいは、包み紙、梱包材もある。再利用はできない。自動的にお取り寄せが増えれば可燃ごみが増えそうな気がする。
事 務 局	コロナによる生活スタイルの変化に伴う数値が拾えるかわからない。
副 部 会 長	状況証拠的にはそのように見えなくもない。
事 務 局	スーパーの出荷量の変化といったものは。
副 部 会 長	スーパーに持っていく話はここには入らない。
部 会 長	スーパーの取扱量、販売量の変化はわかるか。
事 務 局	外食が減ってそのような傾向につながるかどうかというのは。
副 部 会 長	今まで外で食べていた人が、コンビニで買ってきて食べるようになったら当然ごみは増える。それをダメだとはいづらいが、原因としてそういうところがあるのであれば、お取り寄せを考えましょうといった話はあるかもしれない。
事 務 局	そのような視点で数字を調べたい。
副 部 会 長	原因としてはありそうであれば、ライフスタイルをある程度固定することを前提にした目標設定が必要になる。何が何でも一番少ないときの平成 30 年度をベースに戻すといった話にはならないと思う。目標値の設定は、そのようなことも含めて考えないといけないという意見である。
委 員	組合の立場から申し上げますと、今おっしゃられたようにお店で出る事業系ごみというのは、令和元年度から令和 2 年度すごく減っている。550 トンくらい減っているが、一般家庭から出る生ごみが 450 トンくらい増えてしまっている。お店で出る生ごみみたいなものが、スーパーで買って家庭から出されているというのが、明らかに令和元年度と令和 2 年度で数字として出てしまっている。コロナの影響で事業系ごみが家庭系ごみに流れたというのが、どこでも出ていると思う。
事 務 局	それはあくまでも尾三に入ってくるので一般廃棄物である。産廃やその辺も含めると。
委 員	産廃は尾三衛生組合にはこない。
副 部 会 長	令和元年度と令和 2 年度、5,869 が 5,255 になっている。
委 員	似たような数値でずっと動いている。
副 部 会 長	事業系ごみは、やはり食品ロスや生ごみであるか。事業系の組成はわかるのか。
委 員	事業系の組成調査は行っていない。尾三衛生組合に入ってくるものは、市町のほうで許可している生ごみがほとんどである。
副 部 会 長	全体の何%か。そこは気になる。

発 言 者	内 容
事 務 局	事業系なので、食品だけでなくいろいろなものが入ってくる。組成がわかるものがあるとよい。
副 部 会 長	そのようなデータがあればはっきりする。
事 務 局	業種による割合だけでも出れば傾向はわかると思う。
副 部 会 長	出るのであれば、業種で。
委 員	それはわかるが、例えば草ごみを集めている業者や、何社でどれだけ入ってくるとか、一番わからないのが、店を回ってほとんどが厨芥類であるが、その中には紙が混ざっている。その組成調査をしていない。
副 部 会 長	細かいのは無理だと思うが、大体こういうものが多い業種といった分けくらいはできるのかと思う。
委 員	その数値としては出ている。店の厨芥類がどれだけという数値はある。
副 部 会 長	そのようなものがあれば見せていただきたい。
事 務 局	そのデータをいただきたい。
部 会 長	他にいかがか。
委 員	事務局にいるんなデータをつくっていただいている。資料④よりも、資料③のようにグラフだとわかりやすい。数字はわかりにくい。資料②はぱっと見ると一般系がどれだけで、事業系がどれだけと、すぐにわかる。資料をつくるのであれば、このようにまとめていただいたほうがわかりやすいのでよい。いろいろな資料が今までもあるが、基本的には目標の①年間ごみ量の削減の内訳になるのか。目標①が年間ごみ量の削減とあり、その下に②から④がある。これは内訳なのか。
事 務 局	これは①の内訳というわけではない。今の計画の中で①から④の目標がある。
委 員	たくさん数値があると非常にわかりにくい。結局、ごみは大目標が目標①となると思うが、年間ごみが削減されると自ずと②から④も改善されてくると思う。
事 務 局	①は年間ごみ量になるので、人口が増えると当然増える。目標②は1人1日あたりとしている。
委 員	今回、目標を設定するというのが最終目標なのか。それも令和8年度に対する目標ということでよいか。
事 務 局	そうである。
委 員	目標値が甘いような気がする。2割ぐらい削減できないか。5年先がほとんど一緒の数字になっている。誤差のない程度の目標になっている。通常、一般の会社であれば、5年先であれば努力目標も含めて2割ぐらいの目標値を定める。そのために何をやるかはこちらにもいろいろ書いてあるが、そのぐらいの目標を設けてもよいと思う。個人ではやってくれない人もいるので、大きいのは事業系のごみは大体3分の1くらいである。資料②では事業系が4分の1か3分の1ほどある。ここを締めていけば私たち企業の立場上、日進市からやれといわれればやる。それぐらいのことをやっていかないとなかなか減らないと思う。コーヒーを淹れたときに、そのまま捨てる水分があるが、2日くらい放っておくとカラカラになる。私もそういったことをやってはいるが、やってくれる方とやってくれない方がいる。個人への周知も非常に大切

発 言 者	内 容
	かと思うが、企業は行政が押さえれば動かざるを得ないので、そういった面ではこの5,300 トンくらい事業系があるが、この辺を押さえっていくようにすれば企業はお金があるから努力してやるしかないと思う。そのくらいの意気込みでやっていかないといけない。今の数値目標は誤差のない範囲なので、努力目標も含めて、もう少し高い目標を掲げてよいと思う。
部 会 長	おっしゃっていることはよく理解できる。それに対して理想値がある。
委 員	それでもまだ低いように思う。
部 会 長	生ごみは基本的には減らせない。紙はリサイクルに回せる。そういったものを、すべてリサイクルするということである。そういうような考えで、どのような理想値かは出さないといけない。年間2割とすると、食べるな、買うなとそれはちょっといい過ぎではないかという前提があるが、それについては議論できる。理想値をどのように考えたかというところを議論すればよい。目標が低いというのは理解できる。
委 員	コロナがあったからなど、その程度の目標になってしまっていると思う。個人でリサイクルは難しいが、企業は行政がお願いすれば動いてもらえる。動いてもらえるところからつついていけば、高い目標を掲げてもいいのではないかなと思う。各家庭では、資料⑤のように生ごみ機の購入の補助など、非常によいとは思っている。
事 務 局	行政として、事業系のごみが把握できていない部分が多い。事業者もいろいろな取り組みをしている。廃棄物が出れば、その処理費もかさんで経費に上乗せされていくので、逆に企業が独自で目標を持っているということがあれば参考にさせていただきたい。
委 員	それはあるが、今は可燃だけやっている。それくらい押さえつけをしていけば、企業もある程度仕方ないかなと思うところはある。
事 務 局	相談にいきたい。
部 会 長	理想値をどのように出しているのか書いておいていただきたい。また、目標⑤であるが、これは家庭と事業の両方のごみが入っているのか。
事 務 局	⑤は家庭だけである。事業系は入っていない。
部 会 長	それを書いておいていただきたい。生活に則した日常のごみということであるか。
事 務 局	そうである。それぞれの違いがわかるように追加する。
部 会 長	事業系の目標がない。
副 部 会 長	事業系のごみの目標が手つかずであるのは、何とかするべきだという意見は当然あると思う。どのような事業系の一般廃棄物があるのかというのが重要となってくる。前の改定の際に調査しようということで調査した記憶があるが、そのままとなっている。すでにあるデータを使うなり、事業系のごみ、リサイクルできるごみがこれだけあるはずだということと言わないと、市民ばかり押しつけているように見えなくもない。実際に市民側の努力は、リバウンドが起こっている原因にはコロナもあると思うが、多分限界なのではないかなと思っている。下げ止まりは当たり前として、目標を設定しないといけないと思う。プラごみが混ざっただけ、あるいはコロナが起こっただけで影響が出ているので削減してしまったといういい方もできる。これに事業系ごみの目標を掲げることに賛成である。

発 言 者	内 容
事 務 局	事業系について市内全部ということは難しいので、絞り込んで実態調査をしたいと思う。ご協力をいただきながら、どこまで努力ができるのかということは、基準の1つだと思う。
事 務 局	目標①の中に、家庭ごみと事業系のごみが含まれている。それとは別に。
部 会 長	①はこのままでよいか。
副 部 会 長	これはどれだけ処理費にお金がかかるのかというレベルで、絶対に必要な数値である。
部 会 長	今、おっしゃったように下げ止まりは絶対にある。前回は、理想値と目標値を置いた。出来もしないことを載せても仕方がない。これならこれくらい減らせるだろうという、実際の現状を見て、例えば紙なら20%リサイクルしようという値を置きながらつくった。今回は中間の見直しというようにスタートした。少し修正をするにしても、ごみの量を減らさないといけないので、減らすための施策と、どれだけ減らせるかという推測、その両方の確認をしながら議論をしてほしい。事業系はしないといけないといった意見があり、それは議論していただきたい。もう1つは、家庭系ごみをどれだけ減らせるか、日常粗大ごみを除いて、これはリサイクルでカバーするということであるが、一番下の家庭系の燃えるごみの削減の値をどう考えるかということをご議論したいと思う。確認であるが、この対策として水分削減、食品ロスの削減、紙リサイクルの3つがある。それぞれ予測をした結果が資料⑤にある。いろいろな過去の調査、他の4市町の実績調査に基づいて出してきたのがAとBである。AとBは大体これくらいだということで、Cの紙リサイクルについては何も決まっていない。家庭系ごみの紙リサイクル目標20%というのはすでに決まっていることである。それから事業系に関しては20%削減できる可能性があるだろうということで、勝手に仮定して出した。AとBは多分これくらいだろうということである。Cの20%はここで議論することである。全体でもっと減らしたほうがよいという意見もあったが、それは難しいと思う。
委 員	事業系を絞っていけば20%は可能ではないかと思う。企業努力である。そうやっていくしかない。特に紙のリサイクルは、その気になればできる。例えば雑誌買ったらどこに出すのか。
事 務 局	エコドーム、それから地域の子ども会の回収である。
委 員	子ども会は月に1回か。豊田の場合、すぐそばに雑誌回収をしてくれるところがたくさんある。そういったところは土曜でも日曜でも取ってくれる。そのような環境を整えればよい。日進市はエコドームと尾三衛生組合があると思うが、そういったものを周りに5、6個つくってあれば出しやすい。そういったインフラの整備ももう少し環境面で考えていくことができればリサイクル率は上がってくる。行政のほうで考えてほしい。やってできない数値ではない。
部 会 長	家庭からのごみの中で、雑誌、新聞はどのくらいあるか。
事 務 局	新聞が4.19%、雑誌が令和2年度は0%であるが、令和元年度は1%である。合わせて5%くらいある。
部 会 長	それは減らせる。

発 言 者	内 容
委 員	そうすると5%減るので、では、あと15%とか。極論ではあるが。
部 会 長	袋に新聞紙が入っていれば回収しないとか、そういった手は打てる。
委 員	雑誌はたった1%といわれたが、みんなエコドームに持ってきているわけではないと思う。子ども会やいろいろなところに雑誌を回収するところがある。
副 部 会 長	公共のインフラはない。
委 員	数字に出ないところがあるので、非常にわかりにくい。民間のインフラがある。道路の横に雑誌や段ボールを置けるところがある。そういった整備を含めてやっていけばごみも減ってくるのではないか。
部 会 長	そこは、当然市も意識しているがコントロールできない。規制もできない。もし、行政側でそういったことをするとすれば、出してはいけないという方法と啓発しかない。
副 部 会 長	例えば、民間の業者と協定を結ぶといった話はないか。認定して、そこに持っていくように啓発するが、その代わり全部持っていくという協定は可能なのか。
事 務 局	認定まではしていないが、実際に毎年出しているガイドブックの中には報告いただいている、協力しているところについては名前を出してはいる。これができれば数値の管理はしやすい。
部 会 長	載せるための条件はあるのか。
事 務 局	報告いただいているところで、7箇所、新聞や雑誌を集めるところがある。
部 会 長	促進することにはならないか。
事 務 局	ガイドブックを見ないとわからない。位置的にはできるだけ市内の東西南北で、そういったところの数をもう少し増やしていくということは。
副 部 会 長	品目別に載っていると思う。新聞・雑誌はどのように載っているのか。
事 務 局	新聞折込みチラシだと、燃えるごみかエコドームである。
副 部 会 長	では、燃えるごみに入れてもよいということになる。
部 会 長	紙を分別するということが書いていない。そこは十分考えていかないといけない。最初にどうするのが書いてない。だからそういった行動になかなか結びつかない。
事 務 局	その辺を紙に向けていく取り組みというのは今回の見直しのところだと思う。これを機にその方向に移っていきたい。
部 会 長	新聞と雑誌で5%、これは簡単に分別できる部分だと思う。ちょっと頑張らないとできない部分は2種類ある。それはちゃんと分けてということではいいか。厚紙を民間のリサイクルステーションで回収しているところがあるが少ない。雑誌や新聞をごみに入れる人はそんなにいないが、5%という回答なのでちゃんとしないといけない。
副 部 会 長	それでよいと書いてあったらやってしまう。
部 会 長	もう少し中身をわけて、新聞が入っていると回収しないといえばよい。できるところからやっていかなければいけない。 資料⑤のA水分削減、B食品ロス削減、C紙リサイクル、この案件であるが、今日はA、B、Cについて意見をいただきたい。水分削減の1、2がある。この数字は先ほどの意見のように修正すると、1日1人17グラム削減予測、これの0.7なの

発 言 者	内 容
	で 11 グラム、ごみの量でいうとペットボトルのキャップ 2 杯分の量である。これくらいならできるというように考えるかどうか。
委 員	先ほどおっしゃったように、私からすれば、しっかり水を切ってリサイクルしている人が、さらにキャップ 2 杯を出せというのはかなり大変である。そうでない人は水がぼたぼた落ちるようなものをごみに出していると思う。やらない方に、どのように PR していくかである。その人たちがちょっとくらいやってもいいか、もしくは三角コーナーを使ってやってもいいかなと思ったあつという間にこの目標はクリアできる。その人たちにどうやって PR していけばよいか課題になると思う。数値はこれでよいと思うが、それをやるために、先ほどいわれたようにちょっと無理じゃないかという数値を出しておいて、その人たちがちょっとでも傾いてくれたら本来の裏にある目標には届くと思う。
委 員	個人だとやってくれる人とやってくれない人がいる。特にアパートなどがあると、いい方は悪いが、日進市の場合は学校関係のアパートの方が非常に多いので質がよい。ある程度はやってくれると思う。豊田は派遣がたくさんいるので、アパートごみは質が悪い。ああしろ、こうしろとはやってはいるが、そういった人が 1 割でも水切りをしてくれとやるだけでも相当減ると思う。
委 員	PR の方法がない。
委 員	豊田市は広報ではポルトガル語などでも書いてある。一般家庭よりも、やはりアパートから出るごみはたちが悪いような気がする。そういったところに目をつけて、そこが減れば一気にダウンする気がする。ただ、やってもらえるかどうかわからない。
事 務 局	水切りの仕方の周知であるが、すでにやってみえる方、そうでない方で、それぞれ違う伝え方がある。普通に成功している人がいるということ、まず簡単だということ、やれない方にお伝えすることが必要である。今すでにやっていた人には、さらにもう少しこういった努力をすれば減るかもしれないというようなお伝えの仕方がある。その辺は区別をして伝えていきたい。伝える媒体も含め、対象者をわけて、もう一步先までいっていただけるような伝え方はしていきたい。
委 員	指定ごみ袋は 1 枚 10 円くらいだと思う。できる、できないは別として、指定ごみ袋の一番下のところに穴が開いたような二重構造水にしておいて、この上の部分以上ごみが入らなくて、下だけ 1 センチが空洞になっていると、出したときにそこに水が溜まるような感じにならないか。水切りネットといってもやってくれないので、指定ごみ袋内で水が切れるようにして、この指定袋の値段は高くしておいたほうがよい。
委 員	ごみ袋の下に水が溜まっている。5 ミリくらいある。
副 部 会 長	穴をあけるだけでよいのではないか。うちの中で汚れるから、汚さないように気をつけるようにならないか。例えば、1 つの方法としてインセンティブがないので難しいが、自動的にやるという方法もあるが、穴を開けたごみ袋と、それからセットにごみ箱を用意して、ごみ箱を汚したくなかったら水切りをするのではないか。クリエイティブなアイデアではある。
委 員	二重じゃないと出せないところはあるかもしれない。穴が開いた袋が中に入っていて、絶対に二重じゃないと日進市は集めていかないという話になる。

発 言 者	内 容
委 員	大体の人が、生ごみは生ごみでビニール袋に入れて中袋を使うという。
副 部 会 長	それだと指定袋に穴を開けるアイデアはダメである。
委 員	干しているといわれたが、玉ねぎが入っているようなネットに1日分の生ごみを入れてそれを絞って、夜に干して朝になったら捨てるとあまり汚れない。最初のごみは、3日くらいは干すことができる。網を使ったらどうか。
事 務 局	その日の晩御飯に出た三角コーナーのごみを小袋に入れて封をする。結局、乾燥しないまま中に入れてしまう。
委 員	私は新聞紙で括って1日分のごみの量を図る。どれだけ減ったかデータを取っている。
事 務 局	最低一晩は封をせず開けたままにしておくといよい。小さなことから毎日やっただけことが大切である。やれないことをお願いするつもりはないので、皆さんで成功している例を市民に広げていきたい。
委 員	紙については、子ども会で回収をしてくれている。紙類は段ボールも新聞も重ねて置いておけば持っていつてくれる。新聞も雑誌も本も別に出して、紙袋に全部入れて家の前に置いておけば持っていつてもらえる。何も手間もいらない。昔、私たちが子ども会でやっていたときは、親が回っていたが、今は業者が回って、子ども会の人たちのつき添いが無い。もっと団体回収も広めていけないか。子ども会のない地域もあると聞いている。そういうところは、自主的にグループをつくってもらうとか、回収したグラム数を持っていくと市が補助してくれるので、そんなに手間はかかかっていないと思う。ないところはやってもらったらよいのではないか。そうすると20%の削減できるのではないか。
部 会 長	この委員会では、数値まで議論するのか。
事 務 局	今回は項目と数値である。
事 務 局	具体的な個別施策については次々回、第5回になる。今日と次回の第4回が7月にあるが、この2回で目標項目と目標の数値の議論をいただく。
部 会 長	今いただいた個別の議論は次回以降に行うとして、いろいろなアイデアも出た。まず、施策について、水分削減はありということによいか。Bはまだ議論はできていない。Cの紙のリサイクルは、20%は別にして、これも必要という認識によいか。では、Bの食品ロスの削減についていかがか。ここにあるのは、食品の有効活用等の啓発、生ごみの量を減らす、調理くず、それから手つかずの食品、この2つにわかれている。それはいかがか。よろしいか。それからフードドライブの周知である。賞味期限切れに近いものを有効活用するということである。この3つが書いてあるが、これについての意見があればお願いする。実施報告書からいただいているということによいか。調理くず、それから手つかずの生ごみ、手つかずの食品に関しては、日進市の実績値から出しているのか。
事 務 局	組成調査から出している。
部 会 長	500トンある。この500トンのうちの15%なら削減できるということである。年間500トンというのは日進市の実態である。フードドライブは、効果としては少ないが、重要なことなので意識啓発はしていくということである。食品ロス、それから手つか

発 言 者	内 容
	ずの食品について進めるということについて異論ないか。よろしいか。量としては、京都市は4年間で12%とある。食べ残しの削減が4年間で12%、5年間で15%だということによいか。調理くずについてはここで議論しなくてよいか。
事 務 局	調理くずについては書いていない。
部 会 長	では②番で、ここに書いてある500トンというのは、食べられるのに食べていない食品ということか。調理くずではなく、本来食べられるべき食品が15%削減できるかである。
委 員	京都市は何をやって15%に至ったのか。これは実績であるので何かをやったから出てきたのだと思う。
事 務 局	啓発である。宴会などで、食べ残しをしないようにという啓発や、コンビニやスーパーに食品ロスに関する調査を行った。
部 会 長	それは事業系である。
副 部 会 長	事業系も含めた活動で減らしたもので、12%減っているという意味か。
事 務 局	このパーセンテージは家庭系である。家庭ごみと事業ごみをわけて出しているが、家庭系のごみである。
副 部 会 長	家庭系に関しての施策は何か。
委 員	事業系は今いわれたものでわかるが、家庭系では何をやったのか。
事 務 局	資料からは拾えない。周知活動である。
事 務 局	食品ロス0キャンペーンである。
事 務 局	啓発活動を年間20回開催している。
部 会 長	その活動で年間3%減らせたということか。こういった啓発で効果はちゃんとあるはずだということか。この項目も特に異論はないか。
副 部 会 長	組成調査で、令和2年度だけ少ないのが気になる。なぜ少ないのかと思った。だからという話ではないが、平均する部分に令和2年度も使うのか。
事 務 局	高いのと低いのを切ってしまう、真ん中で平均を取ったほうがよいか。
副 部 会 長	それも考えたほうがよいかかもしれない。
事 務 局	令和2年度は特殊である。外食が減ったからかもしれない。
副 部 会 長	家での食事が増えると、継続的に運用が多くなり、その分、期限切らしが減るとは思う。そういったものが現れている可能性もある。
部 会 長	水分削減、食品ロス、紙リサイクル、この3つについては項目に挙げるということによいか。その他にあるのではないかという意見が出ていない。次回、組成調査のグラフを出しいほしい。できれば明確にしたものがほしい。確認が必要である。A、B、Cだけでよいか、確認の意味も含めてお願いしたい。
事 務 局	過去のものも含めて用意させていただく。
副 部 会 長	次は方法論ということなので、現状で配布しているガイドブックは皆さん持っているはずだが、当日確認のために配っていただきたい。先ほどのような、雑誌を可燃ごみに入れてしまってよいといったことの確認もある。そのつくり方によって変わると思う。それは改良していく必要がある。検討すべきだと思う。

発 言 者	内 容
事 務 局	今年度、ガイドブックの見直しをして簡単にしようということで、啓発の部分を省いてしまった。
副 部 会 長	今までどうだったのかということを見たい。だからこうなっているという部分を確認したい。今のこのような改良をしたがこれでよいかということを見せてほしい。
事 務 局	行動につながるような記載の仕方ができるとよい。改良するにあたって、そこについては議論したいと思う。目指すところは、やはりそのような部分で、ボリュームは減らしたが、行動につなげるにはどのような言葉がよいか、次回の課題にしたいと思う。
部 会 長	項目については了解いただいた。足りない部分は追加する。それから方法論については次回検討する。また、数値については次回、引き続き検討したい。
事 務 局	目標の⑤は追加でよいか。
部 会 長	方法論については宿題とさせていただき、次回、議論したいと思う。重要な意見をいただき感謝申し上げます。
	3 その他
事 務 局	(次回会議の案内)
	閉会